

こみゅにTe@たいむ

ドイツ人慶應大教授が語る愛橘



田中館愛橘博士



慶應義塾大クナウプ教授

田中館博士は日本よりも外国で有名だった! 日本を代表する科学者として多くの国際会議に出席した田中館愛橘博士は、行く先々で多くの人々に愛され尊敬されたといえます。

田中館愛橘会主催による「グローバル精神の先駆者としての田中館愛橘先生」と題した講演会が開催されます。実際にドイツに残っている愛橘先生のエピソードや、外国から見た愛橘先生、当時の日本の評価など、さまざまな話題を慶應義塾大学教授でドイツ人のハンス・ヨアヒム・クナウプさんが、わかりやすく日本語で講演します。

二戸が大好きで何度も二戸に訪れているクナウプさんが学者の目で見た愛橘先生のお話です。お誘い合わせてご来場下さい。

日時 5月21日(火) 午前11時より

場所 祖霊社(福岡字橋場 12-13)

入場料 無料

問い合わせ先 田中館愛橘会事務局(☎ 25-5411 シビックセンター内)

その活動をステップアップ!

～市民団体活動推進補助金・説明会～

市は今年度から新たに「市民団体活動推進補助金」を創設しました。これはまちづくり団体・ボランティア団体・NPO法人などの市民団体、企業などがまちづくり活動を行う場合に経費を市で補助します。

補助限度額は30万円で、補助率は4分の3以内です。事業実施にあたり下記により説明会を開催しますので、興味がある団体の皆さんの参加をお待ちしています。どうぞお気軽に問い合わせください。

日時 5月17日(金) ①午後3時～、②午後7時～ ※都合のよい方に参加ください。

場所 なにやーと3階会議室

問い合わせ先 地域振興課(内線382)

一地域おこし協力隊通信一

たからぼの中



二かき目「二戸市の旬感」



昨 年11月に二戸市に移り住んで半年がたちました。あつという間でしたが、今まで生活してきた中で最も充実した日々でした。その理由は、私たちが取り巻く自然環境の旬が分かりやすく、毎日二戸市の新しい顔と出合えるからです。私が神奈川県に住んでいたころは、周りを高いビルに囲まれていて、自然と出会うためにわざわざ遠方へ行くなど、緑を求めてコストをかけていました。そのような生活の中で、都市に住む人の生活圏と自然の間の接点は極めて小さい状況になっていると思いましたが、今ではどうでしょう。

家から一歩出れば、折爪岳や稲庭岳に見守られ、馬淵川や安比川が作り出すリズムミカルな音を聞き、巨木に生命のパワーをもらいながら、それらの自然資源が提供する山・川の恵みをいただく生活ができます。6カ月と短い期間ですが、自然と共に生きることの大切さや厳しさを体験や地域の皆さんを通して学びました。

一方で、これらの自然環境の魅力について市民の皆さんと話をすると「この辺ではどこも同じような風景だ」と耳にすることがあります。確かに、地図で東北地方をとらえてみると、関東以北は森林が広がり、山・川・鳥など資源の中で差異をつけることは難しいかもしれません。ですが、岩谷橋から見る優しい霧囲気をした折爪岳、オシドリなど多くの野鳥が気持ちよさそうに泳いでいる馬淵川、雪衣をまとい静かに春を待つ稲庭岳などの魅力的な空間はこの二戸市でしか味わえません。同じような風景は広がっていますが、同じ風景は二つとしてないということです。

《地域イベントの紹介》 二戸の宝を訪ねる旅

足沢を歩く ～春の里山体験～

○日時 6月2日(日)

午前9時30分～午後1時

○集合場所 午前9時30分 足沢地区生活改善センター

○参加費 2,000円(昼食代、ガイド・山菜採り体験料)

○募集人数 15人(先着順)

○申込期限 5月24日(金) ○主催 ぎばって足沢70の会

○問い合わせ、申込先 地域振興課(内線383)

